

皆さんは退屈したときにどうしますか？チンパンジーはあまりに退屈すると、暇つぶしに自分で自分をくすぐって笑うそうです。人間の脳は「触る」という行動を予測するため、自分でくすぐっても驚きがないけれどチンパンジーの脳はそこまで発達していないのでくすぐったさを感じるのだとか。なんて平和な暇つぶし！

知っとこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【購入済みの墓地は相続税の非課税財産】

相続は亡くなった人の預貯金、有価証券、土地建物など「プラスの財産」だけでなく、借入金などの「マイナスの財産」も同時に引き継ぎます。これらを差し引いた残りが、相続税の「基礎控除額」を超えると基本的に



相続税が発生します。「プラスの財産」の中には、非課税のものがあります。そのひとつに墓地や墓石、仏壇、仏具などの祭祀財産があります。それが純金製の仏壇や仏具であっても「骨とう的価値があるなど投資の対象となるもの」「商品として所有しているもの」ではないと判断されれば非課税となります。また生前に墓地などの購入を済ませておけば、その分「プラスの財産」が減少して相続税を減らすことができます。この場合のポイントは「相続が発生するまでに代金の支払いを完了しておくこと」。支払いが完了していないと非課税財産として差し引くことができません。なお葬式の費用は債務（マイナスの財産）ではありませんが、相続税を計算する際には「プラスの財産」から差し引くことができます。

光を放つ 名言コラム

【365 Less Things】

掃除や整理整頓についてネットサーフィンをしているときに「365 Less Things」というサイトを知りました。運営者はオーストラリア在住のコリンさんという女性で、自宅の不用品を一年間、毎日ひとつずつ処分するプロジェクトを紹介していました。「毎日処分する」という過程ではなく「365 Less Things」＝「モノが365個減る」という結果に焦点を当てた表現が新鮮でした。継続は力なりと言うように、続けることはとても大切です。試験勉強も、家の片付けもそうでしょう。一方で、継続に固執すると「続けられる」「続けられない」自体がテーマになってしまい、何を何のために続けるのかが二の次になることもあります。「三日坊主だから〇〇ができない」がまさにそう。継続できないときこそ「モノが365個減る」など、結果や目的から考えてみるといいのかもしれない。やるのをやめたという結論が出てもOKですよ！

世界の偉人伝

今月の偉人：【キング牧師】

マーティン・ルーサー・キングは黒人差別撤廃運動を指導したアメリカの牧師です。父も祖父も代々牧師のジョージア州アトランタの家に生まれ、大学卒業後に牧師になりました。南北戦争後も根強く残る黒人差別に対し、徹底した非暴力主義を説き、バス・ボイコットなどの公民権運動を指導しました。奴隷解放宣言100周年のワシントン大行進には20万人を動員し「私には夢がある」の演説はあまりに有名です。39歳の若さで凶弾に倒れるまで、真の解放に心血を注いだ人でした。

生活の知恵としてよく行われる「再利用・再活用」。だしがらのふりかけ。古い服をぞうきんに。新聞紙で窓拭き。牛乳パックをまな板代わりに、または冷蔵庫内の仕切りに。麺類のゆで汁は雑草にかけて除草剤代わりなどアイデア次第で節約と環境への配慮がかないます。

知って！
知恵袋

才人の言葉

最高の復讐は圧倒的な
成功を収めることだ

アメリカの歌手、俳優であるフランク・シナトラの言葉。誰に何をされても、その怒りのエネルギーを相手に向けるのではなく、自分が成長するための努力に使う。

振り向けばあそこにも ここにも 商売のヒント

今月の商売のヒント：【視点という選択肢】

「2人の囚人が鉄格子から外を見ていた。1人は地面の泥を見て絶望した。もう1人は空に輝く星を眺めて希望を抱いた」。これはアイルランドの詩人、フレデリック・ラングブリッジの「不滅の詩」の一節で、大ヒットマンガ『ジョジョの奇妙な冒険』でも引用された有名な言葉です。



2人の囚人の目に映るものは同じでありながら、その見方は対照的です。1人は下を向き、見えるのは足元の泥のみ。もう1人は上を向き、星空の輝きを見つめる。この詩は、同じ状況でも視点によって意味合いがいかに変わるかを端的に表現しています。人生の困難に直面したとき、あなたはどこに視点を向けるでしょうか。足元の泥、すなわち現実の苦しみや制約にばかり目を奪われると心は絶望で満たされます。しかし視点を換え、希望を象徴する星を見つめることで心に光を灯すことができます。この対比は、単なるポジティブ思考・ネガティブ思考の違いではありません。それは自分の置かれた状況を解釈する力。そして、未来への可能性を見出す能力の差ではないかと思います。商売の場面でも同じです。思うようにならないとき、問題に囚われるか、それとも解決策を探し続けるか。限界だとあきらめるか、それとも創造性を発揮するか。起こった出来事自体より、そこから何を見出し、どう解釈するか、そしてどう行動するかによって、まったく異なる展開が広がっていきます。愚痴や批判が多くなったら自分に問いかけてみてください。「泥を見るか、星を見るか」と。結局のところ、人生も商売も「視点」という選択肢によって形作られているのだと思います。

ナック! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【DeepSeek（ディープシーク）】

中国の人工知能研究所が開発した大規模言語モデルのこと。ChatGPTと並ぶ対話型AIサービスとして注目されている。最新モデルは低コストで開発され、数学やプログラミング、推論問題の処理などに優れた性能を発揮。オープンソースでの提供を称賛される一方、セキュリティ上の懸念から各国で利用制限の動きもある。

トナリの本棚

【クジャクのダンス、誰が見た?】

ドラマ化された浅見理都の漫画。元警察官の殺害事件から始まる衝撃のクライムサスペンスです。ストーリー展開が絶妙で、続刊が待ち遠しくなる一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>